

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2015.4 April vol.32-2

二月定例議会

皆さんの笑顔のために

2月16日から3月6日まで19日間、二月定例議会が開かれました。今回の議会では、27年度予算や二月補正予算、法令等の改正による条例改正案など82件が上程され、全て可決されました。

また、島根県再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例を議員から提案しました。

2月16日から3月6日まで19日間、二月定例議会が開かれました。今回の議会では、27年度予算や二月補正予算、法令等の改正による条例改正案など82件が上程され、全て可決されました。

また、島根県再生可能エネルギーの導入の推進に関する条例を議員から提案しました。

再生可能エネルギー導入推進

議員提案で条例制定

昨年二月議会で、県民請求によるエネルギー自立地域推進条例の制定が求められました。しかし、残念ながら委員会でも採択になり、本会議でも委員会報告通りで可決されてしまいました。再生可能エネルギーの導入推進は必要としつつ、その根拠となる法令作りには反対する議会に対して、民主県民クラブ

今議会でも一般質問に立ち、次の内容について質問しました。

1 医療勤務環境改善支援の

取り組みを進める

看護師をはじめ医療現場で働く皆さんからは、職場環境改善に向けての地域医療対策が進められているが、現場ではまだまだ改善されたとはいえないという声をよく聞きます。

そこで、県が進めようとしている医療勤務環境改善支援センターの設置を巡り、現場の声

(裏へ続く)

4月3日に告示された島根県議会議員選挙は、松江選挙区で定数11に対し12人の立候補者の戦いとなりました。前回無投票だったこと、最初の選挙に比べ支援組織の変更により組織人員もかなり減少していることから、私としては厳しい選挙でした。そんな状況でスタートした選挙戦は、雨の日が多く寒い中での遊説となりましたが、支援者の皆さまの心のこもった暖かい応援に支えられ、結果、65

女性の視点 生活者の立場で元氣な島根づくり 〜安心で安全な生活を守ることを第一に〜

26票を得て7位で当選を果たすことができました。ただ、8年前の得票数からかなり票を落としたことについては、しっかりと胸に留め、今後の活動につないでいかなければならないと思っています。

これからの4年間、女性としての視点、働く者、生活者としての立場を活かし、安心して暮らせる島根づくりに全力で取り組みますので、引き続きのご支援よろしくお願い致します。



をよく聞いて改善に取り組むよう要望しました。

2 地域資源を生かした

地域包括ケアシステムづくり

高齢化が進む中、厚生労働省は、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的で、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。これから、各市町村で人材の確保や地域の

資源を生かした地域包括ケアシステムがつくられていきませんが、県の支援が何よりも必要です。

各市町村の取り組み状況と県の支援について質しました。

3 子どもオンブズパーソン制度

設置に向けての取り組みを

島根の子どもに寄り添い、相談対応や調査を行って、子どもと学校などの関係を調整することにより問題を解決する仕組みとして、子どもオンブズパーソン制度の導入を求めてきました。来年度の予算に、子どもの相談・支援機能強化事業が盛り込まれています。子どもオンブズパーソン制度の導入に向けた調査検討状況と、新年度の事業の取り組みについて聞きました。

4 保育士確保に向け

処遇改善の取り組みを

産休明けや育休明けで保育所入所を希望しても、年度途中では保育士が確保できず、子どもを預けることができない事態が起きています。年度途中の保育士不足を回避するために、年度当初から中途入所を見込んだ保育士確保への支援や、保育士の処遇改善への取り組みについて質しました。



女性が共感できる

政治を身近に

3月7日、元参議院議員の円より子さんを招き、県民会館で女性集会を開きました。政治を身近なものに感じていただくとうと企画した集会には、60人余りの人たちが参加されました。

この会では、私も円さんともに、それぞれ議員活動する中で感じたこと、取り組んだことなど話しました。特に、まだ幼い娘の子育てをしながら議員活動を始めた円さんが、娘さんの問いかけに忙しさ優先して



当選証書とともに、支えてくださったユニオン女性部の皆さんと記念撮影

たくさんの応援の声に 支えられて

今回の選挙では、たくさんの方に応援していただき感謝しています。事務所を飾ってくれた「とまちゃん」の顔には、たくさんの方から寄せられた10cm四方の色紙に書かれたメッセージがぎっしりと貼られています。ここに書かれていることを胸に留め、これからも頑張ります。

応えてあげられなかった時、娘さんがさびしそうにつぶやいた話には、皆さんにも胸にこみ上げてくるものがあり、会場からも涙ながらに感動の声を寄せていただきました。

家事や育児をこなしながら働く女性には、同じ立場にいる人という身近さを感じるとともに、「国会の様子を体験者の生身の声で聞くことが出来、普段、テレビや新聞では伝わってこない話を聞いて、より政治が近くなった」との声も寄せていただきました。これからは、

つながる政治も身近な



円さんと対談形式で講演